



学校間の  
「つながり」を深める

具体的な取組み例

● 「なりたい自分」をみつける体験的な活動を

学校同士が情報交換しながら、子どもが「なりたい自分」について考えることができるような体験的な活動を各学校で実施しましょう。

そして、成長した姿を学校同士で話し合しましょう。

● 小・中・高の教員同士の研修を

各学校で行うキャリア教育の取組みを持ち寄って、子どもたちの育ちと学びを小から中、高へとつなぎましょう。

● 「夢のスケッチブック」づくり

学校は、子どもたち一人一人がキャリア教育において、どのようなことを学び、どのようなことを経験したかなどを記録に残して綴じ込み、「夢のスケッチブック」として記録を重ねていきましょう。

そして、この「夢のスケッチブック」を小から中、高へとバトンタッチしていきましょう。



中学生が小学校で職場体験について語りました。  
(竹原市立竹原小学校・竹原中学校)

学校・教員が果たすべき役割

キャリア教育を充実させるためには、幼児期からの発達段階に応じた取組みが必要です。保育所・幼稚園、小学校・中学校・高等学校等が組織的・系統的に、幼児児童生徒一人一人のキャリア発達を促進させる取組みを推進することが必要です。

改善の考え方

保育所・幼稚園、小学校・中学校・高等学校等は、情報を共有するなどして、相互に十分な連携を図り、子どもたち一人一人の発達課題に対する指導・援助を組織的・系統的に行うことが大切です。